

# 平成27年度 施策評価シート (平成26年度実績評価)

施策	基本構想	04	Ⅳいきいきと伸びやかに育つ人と文化のまちづくり
	政 策	01	1 生涯学習の充実
	施 策	01	1 生涯学習環境の充実

## 施策の概要

基本施策			
01	①主体的な生涯学習を推進する体制づくり		
02	②生涯学習活動への支援		
03	③生涯学習環境の充実		
04	④公民館事業の充実		
05	⑤図書館事業の充実		
主管課			
653600	生涯学習課		
関係課			
401500	農政課	653700	文化課
654200	地域交流センター	654500	関本公民館
654800	明野公民館	655100	協和公民館
655700	****		
施策の基本目標			
●家庭・学校・地域や、民間と行政との連携を図りながら、生涯学習社会の形成を推進するとともに、学習活動で培った成果や能力を地域社会の中で生かす場や機会の充実を図る。●市民の多様な学習意欲に応じ、生涯にわたって自ら学べる学習環境を創造するとともに、市民の自発的な生涯学習を支援するため、情報提供や相談機能などの体制づくりを推進する。●市の文化の向上と高度で多様な教育ニーズに対応しながらすべての市民に親しまれ、市民の教育や学習機会の創出と文化的な活動に役立つ公共図書館となるよう積極的な情報提供と資料施設の充実を図りサービス向上に努める。			

## 目標指標・成果指標の推移

成果指標 1	目標・成果項目	各種講座の参加者数						
	考え方・式等	生涯学習活動への意識やニーズを検討する際の資料として、講座の参加者数を活用する。						
	目標年度	平成 28 年度	目指す方向	↑	目標値	11,000	達成率 (%)	66.8
	単 位	人						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	実 績	6,822	7,368	7,343				
成果指標 2	目標・成果項目	公民館利用者数						
	考え方・式等	公民館の利用状況を把握し、学習活動や市民活動の場としての充実を図る。						
	目標年度	平成 28 年度	目指す方向	↑	目標値	280,000	達成率 (%)	86.0
	単 位	人						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	実 績	262,989	243,629	240,913				
成果指標 3	目標・成果項目	図書館の貸出件数（年間・市民1人当たり）						
	考え方・式等	市民の満足度。						
	目標年度	平成 28 年度	目指す方向	↑	目標値	3.3	達成率 (%)	109.4
	単 位	冊						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	実 績	3.27	3.29	3.61				

## これまでの取組と成果

①主体的な生涯学習を推進する体制づくり	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生涯学習推進計画」に基づく生涯学習の総合的かつ体系的な推進を展開した。</li> <li>ちくせい市民講師の活用と促進を図った。</li> <li>第2次筑西市生涯学習推進計画の策定を図った。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動団体が自ら活動の企画や事業の運営に主体的に参画する傾向が見受けられてきた。</li> <li>ちくせい市民講師ガイドを発行したことで登録者情報を提供することができ、人材の発掘と育成を図ることができた。</li> <li>生涯学習推進計画に係る資料の収集を図ることができた。</li> </ul>

②生涯学習活動への支援	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習情報紙を発行した。</li> <li>・筑西市民大学&lt;立正大学デリバリーカレッジ&gt;を開催した。</li> <li>・生涯学習指導員を中心とした相談体制の充実を図った。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなの生涯学習ガイド」及び生涯学習情報紙「くろーばー」を発行したことで、市民に広く生涯学習情報を提供するとともに生涯学習活動の状況を発信することができた。</li> <li>・「ちくせい市民大学」が継続して開講されたことで、市民の学習意欲、ニーズに応えることができた。</li> <li>・相談体制の充実により、市民の活動の記録・認定事業である「生涯学習奨励単位認定事業」が継続され、市民の学習意欲を高めることができた。</li> </ul>
③生涯学習環境の充実	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山を活用した学習機会の充実が図られた。</li> <li>・生涯学習センター（ペアーノ）の維持管理を行った。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山での活動団体を支援したことで、地域の自然環境の保全と子どもたちの自然体験学習の場が提供でき、学習機会の充実を図ることができた。</li> <li>・施設の維持が図られ、より良い環境のもとで多くの市民に学習の場を提供することができた。</li> </ul>
④公民館事業の充実	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館運営審議会を開催した。</li> <li>・補助金を交付した。</li> <li>・団体への支援協力を行った。</li> <li>・市民ニーズを反映した講座の立案と実施を行った。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者学級、女性学級、女性会等各種団体の活動支援に取り組んだ。</li> <li>・公民館講座として60講座を開設し、広く学習の機会を提供することができた。</li> <li>・公民館施設において利用者相互の交流が図られた。また、自主的な学習活動への意欲喚起の機会を提供することができた。</li> </ul>
⑤図書館事業の充実	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者制度を導入し、民間が有する専門的知識等の活用により、利用者へのサービスの向上、及び、コスト削減に取り組んだ。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズに対応しながら、図書資料の充実とサービスの向上が図られた。</li> <li>・各学校と連携し、学校訪問ブックトーク、読み聞かせ事業を推進し、児童・生徒に対して利用案内を行い、求めに応じて学習や読書を支援することができた。</li> <li>・開館日数および開館時間（1日2時間の増）が増えた。</li> <li>・県内初の電子図書館が導入された。</li> </ul>

## 施策コスト

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
① 本施策を構成する 事務事業の数	事業	29	30	34	37	
② 本施策を構成する事務事業に 従事する職員数	人	47.05	41.89	30.71		
③ 施策事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	317,566	323,000	403,790	410,395	
④ 施策事業費 (事務事業の人件費合計)	千円	253,523	231,917	153,029		
⑤ トータルコスト(③+④)	千円	571,089	554,917	556,819		

## 施策の結果評価

評価の観点		
評価内容		点数
<b>(1) 施策の進捗度 (達成度)</b>		
一次評価	進捗している	24
理 由		
生涯学習の啓発を進める中で各種講座の受講生は、前年度より若干下回ったが、一定の数値を保っていると考えられる。		
最終評価	進捗している	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(2) 施策の効率性・効果性 (費用対効果の観点)</b>		
一次評価	どちらかといえば高い	24
理 由		
講座等のカリキュラムや施設におけるサービスを精査し、効果的な事業展開がなされている。		
最終評価	どちらかといえば高い	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(3) 県内自治体との比較 (県内自治体との成果実績を比較)</b>		
一次評価	かなり高い水準にある	6
理 由		
指定管理者制度導入により、民間の持つ専門的知識の活用により、利便性が向上したと考えられる。		
最終評価	かなり高い水準にある	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(4) 市民の期待との比較 (市民が期待する水準と成果実績の比較)</b>		
一次評価	ほぼ同水準である	4
理 由		
近年の多様な学習ニーズに応えるべく、各種講座の展開、図書利用の充実、学習機会の創設や、継続的に実施している。		
最終評価	ほぼ同水準である	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(5) 施策の優先度 (他の施策との比較)</b>		
一次評価	高い	29
理 由		
変化の激しい今日の社会にあって、自己の充実・啓発のための学習、職業能力や生活の向上のための学習など、様々な学習機会が求められている。このような状況の中で、生涯学習というフレームを通して学習活動を市民の皆さまに提起していくと		
最終評価	高い	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>一次評価に対する施策の事後評価 (数値化による評価)</b>		
<b>A</b>	施策目標に向けて順調	<b>86</b>

### 【総合評価】 (施策の今後の方向性)

前年度	最終評価	現状のまま継続
	施策や取組に対する提言	市民の主体的な学習活動の支援や社会貢献できる機会の創出など、生涯学習を総合的・体系的に推進するとともに、老朽化した施設の維持管理については、統廃合も含めた今後の在り方を検討されたい。
	一次評価	現状のまま継続
	理由	今後とも、各事業内容を精査しながら、効率的・効果的な事業展開をします。
	最終評価 (ヒアリング結果)	現状のまま継続
	施策や取組に対する提言	引き続き、市民の主体的な学習活動の支援や社会貢献できる機会の創出など、生涯学習を総合的・体系的に推進されたい。老朽化した施設の維持管理については、統廃合も含めた今後の在り方を検討されたい。

## 未達成の課題

未達成の課題	地域資源を活用した学習環境の充実について、地域の里山など自然を活用した体験学習の場や地域の歴史・文化財を活用した学習機会の提供などに積極的に取り組む必要があることから、専門職員など人材の確保と配置を図る。
--------	--

## 今後の施策展開

(1) 平成27年度の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 関係機関や施設との連携を強化し、学習活動の支援と学習の機会を創出する。</li><li>・ 関連施設の維持管理、活動運営を継続する。</li></ul>
(2) 平成28年度の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 関係機関や施設との連携を強化し、学習活動の支援と学習の機会を創出する。</li><li>・ 関連施設の維持管理、活動運営を継続する。</li></ul>
(3) 平成29年度以降の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 関係機関や施設との連携を強化し、学習活動の支援と学習の機会を創出する。</li><li>・ 関連施設の維持管理、活動運営を継続する。</li></ul>

本施策を構成する事務事業

新規	事務事業名称		事業費（千円）		従事職員数（人）		今後の事業の方向性
			平成25年度		平成26年度		
	担当課名		平成27年度				
04010101 IVいきいき・1生涯学習・1生涯学習・①主体的な生涯学習を推進する体制づくり							
1922	社会教育委員運営事業	112	0.20	653600	生涯学習課	184	-
		121	0.19			184	
1923	社会教育支援補助事業	756	0.05	653600	生涯学習課	756	見直し
		756	0.02			756	
1924	社会教育参画事業	243	0.05	653600	生涯学習課	242	-
		242	0.02			249	
1930	生涯学習推進事業	2,045	0.25	653600	生涯学習課	2,010	-
		2,010	0.50			2,293	
2341	生涯学習支援補助事業	921	0.00	653600	生涯学習課	716	見直し
		716	0.03			1,000	
04010102 IVいきいき・1生涯学習・1生涯学習・②生涯学習活動への支援							
1947	地域団体支援事業	1,410	0.55	654200	地域交流センター	1,410	現行どおり
		1,410	0.55			1,450	
04010103 IVいきいき・1生涯学習・1生涯学習・③生涯学習環境の充実							
2288	新しい公共の場づくりのための提案型モデル事業	0	0.00	401500	農政課	0	-
		0	0.00			0	
1943	スピカビル公益施設管理運営事業	2,022	0.68	653700	文化課	3,700	見直し
		3,700	0.70			4,275	
2403	スピカビル公益施設活用事業	0	0.00	653700	文化課	0	-
		0	0.00			0	
1967	生涯学習センター管理運営事業	15,781	0.70	654500	関本公民館	15,058	-
		15,058	0.10			17,115	
2319	生涯学習センター施設改修事業	2,888	0.70	654500	関本公民館	7,486	現行どおり
		7,486	0.10			1,111	
1968	生涯学習センター文化施設協会参画事業	43	0.60	654500	関本公民館	43	-
		43	0.10			43	
1954	海老ヶ島集会所運営経費	383	3.30	654800	明野公民館	369	-
		369	3.30			429	
04010104 IVいきいき・1生涯学習・1生涯学習・④公民館事業の充実							
1944	地域交流センター管理運営事業	79,572	3.35	654200	地域交流センター	80,739	-
		80,739	3.30			84,769	
2305	地域交流センター改修事業	3,925	0.10	654200	地域交流センター	3,737	現行どおり
		3,737	0.25			5,849	
1945	地域交流センター活動経費	2,833	1.10	654200	地域交流センター	2,542	-
		2,542	1.20			2,620	
1946	公民館運営審議会関係経費	150	0.14	654200	地域交流センター	145	-
		145	0.12			184	
1948	公民館協議会参画事業	37	0.03	654200	地域交流センター	37	-
		37	0.02			38	
1949	下館地区公民館管理運営事業	56,165	0.95	654200	地域交流センター	56,351	-
		56,351	0.75			57,531	

新規	事務事業名称		事業費（千円）		従事職員数（人）		今後の事業の方向性
			平成25年度		平成26年度		
	平成26年度		平成27年度		担当課名		
	平成27年度						
	2379	下館地区公民館改修事業	0	0.00			現行どおり
	654200	地域交流センター	7,149	0.30			
	1951	関本公民館管理運営事業	21,891	4.00			-
	654500	関本公民館	20,768	4.00			
	2384	黒子公民館改修事業	0	0.00			現行どおり
	654500	関本公民館	1,231	0.10			
	2445	関城地区公民館改修事業	0	0.00			-
	654500	関本公民館	0	0.00			
	1952	明野公民館管理運営事業	23,700	4.15			-
	654800	明野公民館	26,587	4.15			
	1953	明野公民館改修事業	18,675	3.50			現行どおり
	654800	明野公民館	10,830	3.75			
	1955	明野公民館文化施設協会参画事業	43	3.05			-
	654800	明野公民館	43	3.20			
	1956	協和公民館管理運営事業	5,865	1.68			現行どおり
	655100	協和公民館	3,762	2.20			
04010105 IVいきいき・1生涯学習・1生涯学習・⑤図書館事業の充実							
	2374	図書館管理運営事業	0	0.00			現行どおり
	653600	生涯学習課	155,155	1.26			
	1972	図書館維持管理経費	28,502	3.27			-
	653600	生涯学習課	1,067	0.40			
	1977	図書館施設改修事業	10,024	0.38			-
	653600	生涯学習課	1,663	0.00			
	1971	図書館協議会関係経費	100	0.07			-
	653600	生涯学習課	73	0.10			
○	2454	図書館貴重資料修復事業	0	0.00			-
	653600	生涯学習課	0	0.00			
○	2498	図書館ICタグシステム整備事業	839				-
	653600	生涯学習課	0	0.00			
	1973	図書館運営事務経費	20,650	6.39			-
	655700	****	0	0.00			
	1974	図書館協会参画事業	60	0.15			-
	655700	****	0	0.00			
	1975	図書館資料費	22,890	1.12			-
	655700	****	0	0.00			
	1976	ブックスタート事業	1,314	1.38			-
	655700	****	0	0.00			

# 平成27年度 施策評価シート (平成26年度実績評価)

施策	基本構想	04	IVいきいきと伸びやかに育つ人と文化のまちづくり
	政 策	02	2子どもの能力を伸ばす教育の充実
	施 策	01	1豊かな幼児教育の充実

## 施策の概要

基本施策			
01	①幼稚園教育の充実		
02	②保育所（園）・幼稚園・小学校の連携		
03	③子育て支援の充実		
04	④施設の整備充実		
主管課			
650300	学務課		
関係課			
651200	明野幼稚園	651500	協和幼稚園
施策の基本目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭や地域との連携のもと、幼稚園の教育課程の編成や運営方針、保育内容などの充実を図るとともに、施設の整備充実を推進する。</li> <li>●また、公立・私立幼稚園、保育所（園）の相互補完に努めるとともに、小学校との連携を強化していく。</li> </ul>			

## 目標指標・成果指標の推移

成果指標 1	目標・成果項目	公立幼稚園における子育て相談の開催数						
	考え方・式等	各園8回						
	目標年度	平成 28 年度	目指す 方 向	↑	目標値	24	達成率 (%)	104.2
	単 位	回						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	実 績	19	21	25				

## これまでの取組と成果

①幼稚園教育の充実	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>①家庭・幼稚園・地域の連携と協力により、年間計画に沿って計画的な幼児教育を実践した。</li> <li>②教諭の指導方針、指導方法、指導要録及び園の安全管理等の改善を図った。</li> <li>③地震等における緊急時の実践的なマニュアルを作成した。</li> <li>④私立幼稚園就園奨励費の支給</li> </ul>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>①3園（関城幼稚園舎）で延べ、年間教育日数581日、年間計画に沿った計画的な幼児教育を実施することができた。</li> <li>②明野・協和幼稚園の計画訪問における指導事項について改善し、幼児教育の充実を図ることができた。</li> <li>③緊急時実践マニュアルの作成により、適切な対応をすることが可能となった。</li> <li>④26園・525人に私立幼稚園就園奨励費を支給、保護者負担の軽減を図った。</li> </ul>
②保育所（園）・幼稚園・小学校の連携	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>①異種年齢間（保育所児・小学生・中学生・高校生）との交流を促進した。</li> <li>②幼・保・小連絡協議会において、情報交換及び連携の推進を図った。</li> <li>③指導要録を作成し、小学校との連携を強化した。</li> </ul>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小学生3回、中学生5回、高校生3回の交流を図ることができた。</li> <li>②授業参観や保育参観など、計14回の情報交換・交流を図ることができた。</li> <li>③全園児分の指導要録を作成し就学先の小学校に送付、小学校への円滑な接続ができた。</li> <li>④筑西市幼小接続カリキュラム（平成25年度版）を発行、幼児教育から学校教育への滑らかな接続を図ることができた。</li> </ul>



③子育て支援の充実	
取組み	①家庭教育学級での学習・教育講演会の実施・子育てに関する資料の配付を行った。 ②個別面談を実施し、園と家庭の共通理解や連携の強化を図った。 ③問題や悩みがある時には、随時保護者と園が連絡を取り合う体制の構築を図った。 ④家庭教育学級活動の支援や、個別面談、人権教育研修会への参加を推進した。
成果	①3園で計15回の家庭教育学級を開催し、子育てに関する資料を配布、事業の周知を図ることができた。 ②3園で計25回の個別面談等を実施し、園と家庭の共通理解・連携の強化、信頼関係の構築ができた。 ③電話や面談を通じ、問題や悩みの解決に努力した。 ④個別面談・人権教育研修会に、多くの保護者の参加が得られた。
④施設の整備充実	
取組み	①幼児の安全を確保するため、老朽化した施設の計画的な整備を実施した。 ②各種施設の維持管理業務の民間委託化を行った。
成果	①突発的な修繕を含め、施設の修繕を実施、幼児教育にふさわしい環境整備を図ることができた。 ②3園で計38の施設維持管理業務を専門業者への民間委託で実施し、保育環境を安全に保つことができた。

### 施策コスト

項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
① 本施策を構成する事務事業の数	事業	7	7	7	7	
② 本施策を構成する事務事業に従事する職員数	人	9.43	8.45	7.50		
③ 施策事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	103,910	103,675	114,290	57,882	
④ 施策事業費 (事務事業の人件費合計)	千円	76,996	65,564	61,343		
⑤ トータルコスト(③+④)	千円	180,906	169,239	175,633		

## 施策の結果評価

評価の観点		点数
評価内容		
<b>(1) 施策の進捗度 (達成度)</b>		
一次評価	進捗している	24
理由		
後期基本計画の施策内容に基づき取り組み、実施することができた。		
最終評価	進捗している	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(2) 施策の効率性・効果性 (費用対効果の観点)</b>		
一次評価	どちらかといえば高い	24
理由		
既存施設の老朽化も進んでおり、維持管理費の増加が見込まれる。		
最終評価	どちらかといえば高い	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(3) 県内自治体との比較 (県内自治体との成果実績を比較)</b>		
一次評価	ほぼ同水準である	4
理由		
保育料については、近隣市町と同額である		
最終評価	ほぼ同水準である	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(4) 市民の期待との比較 (市民が期待する水準と成果実績の比較)</b>		
一次評価	ほぼ同水準である	4
理由		
私立幼稚園が無い地域に設置されている。 また授業料も低額である。		
最終評価	ほぼ同水準である	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(5) 施策の優先度 (他の施策との比較)</b>		
一次評価	どちらともいえない	18
理由		
近年における認定こども園への移行傾向、入園児の減少など今後検討が必要である。		
最終評価	どちらともいえない	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>一次評価に対する施策の事後評価 (数値化による評価)</b>		
<b>B</b>	<b>施策目標に向けておおむね順調</b>	<b>72</b>

### 【総合評価】 (施策の今後の方向性)

前年度	最終評価	事業内容の再構築
	施策や取組に対する提言	「子ども・子育て支援新制度」開始に向け、関係課と協力・連携し、円滑な施策展開を推進されたい。
	一次評価	<b>事業内容の再構築</b>
	理由	子ども子育て支援新制度の施行等に伴い、事業内容について検討の必要がある。
	最終評価 (ヒアリング結果)	<b>事業内容の再構築</b>
	施策や取組に対する提言	関係課と協力・連携し、「子ども・子育て支援新制度」施行に係る各種事業の円滑な展開を推進するとともに、公立幼稚園の今後の在り方を検討されたい。

## 未達成の課題

未達成の課題	●公私立保育所・幼稚園・小学校との交流等を一層拡大、連携の強化に努めるとともに、施設環境の整備を図る。
--------	---

## 今後の施策展開

(1) 平成27年度の施策展開	平成27年4月から子ども子育て支援新制度が施行、認定こども園への移行・預かり保育の実施など、地域のニーズに合わせた教育・保育の提供体制の整備を図る
(2) 平成28年度の施策展開	認定こども園への移行・預かり保育の実施など、地域のニーズに合わせた教育・保育の提供体制の整備を図る。 子ども子育て支援新制度が施行に伴い、国や近隣市町村の動向に合わせて利用者の負担額の検討。
(3) 平成29年度以降の施策展開	認定こども園への移行・預かり保育の実施など、地域のニーズに合わせた教育・保育の提供体制の整備を図る。

本施策を構成する事務事業

新規	事務事業名称 担当課名	事業費（千円）		従事職員数（人）		今後の事業 の方向性
		平成25年度		平成26年度		
		平成26年度		平成27年度		
		平成27年度				
04020101 IVいきいき・2子どもの・1豊かな幼・①幼稚園教育の充実						
1823	私立幼稚園助成事業	54,775		0.27		現行どおり
		68,020		0.32		
650300	学務課	9,649				
1906	明野幼稚園事務費	22,708		3.55		-
		20,123		3.55		
651200	明野幼稚園	21,564				
1908	明野幼稚園幼児教育参画事業	29		0.02		-
		28		0.02		
651200	明野幼稚園	31				
1917	明野幼稚園振興事業	29		0.02		-
		39		0.02		
651200	明野幼稚園	130				
1909	協和幼稚園事務費	26,053		4.55		-
		26,008		3.55		
651500	協和幼稚園	26,334				
1911	協和幼稚園幼児教育参画事業	36		0.02		-
		34		0.02		
651500	協和幼稚園	39				
1918	協和幼稚園振興事業	45		0.02		-
		38		0.02		
651500	協和幼稚園	135				

# 平成27年度 施策評価シート (平成26年度実績評価)

施策	基本構想	04	IVいきいきと伸びやかに育つ人と文化のまちづくり
	政 策	02	2子どもの能力を伸ばす教育の充実
	施 策	02	2生きる力を育む義務教育の充実

## 施策の概要

基本施策			
01	①教育内容・環境の充実		
02	②相談・指導の充実		
03	③教職員の資質向上		
04	④学校施設・設備の充実		
05	⑤学校給食の充実と効率的運営		
主管課			
650300	学務課		
関係課			
651800	学校給食課	652100	下館学校給食センター
652400	明野学校給食センター	652700	協和学校給食センター
653000	施設整備課		
施策の基本目標			
●学校・家庭・地域及び関係機関相互の連携を図りながら、教育環境の整備や教育内容の充実、きめ細かな児童生徒指導の推進を図り、筑西市の教育目標の具現化を目指す。 ●衛生管理の徹底を図り、給食献立には行事食や季節食、地域の産物（地産地消）を活用した筑西食の日などテーマをもうけながら、魅力ある給食の提供に努める。また、食育の推進や安全性の確保に努めながら、学校給食の充実と適正な運営を図る。			

## 目標指標・成果指標の推移

成果指標 1	目標・成果項目	指導主事等の学校訪問（計画訪問）						
	考え方・式等	市内小中学校・幼稚園への計画訪問年1回/校を実施						
	目標年度	平成 28 年度	目指す方向	→	目標値	27	達成率(%)	107.4
	単 位	校						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
実 績	27	29	29					
成果指標 2	目標・成果項目	耐震化完了学校数						
	考え方・式等	各学校毎に保有するすべての建物の耐震化						
	目標年度	平成 27 年度	目指す方向	↑	目標値	27	達成率(%)	77.8
	単 位	校						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
実 績	10	16	21					

## これまでの取組と成果

①教育内容・環境の充実	
取組み	①各教科の授業における言語活動の充実や問題解決的な学習の促進を図った。 ②理数教育の充実を図るために「理科教科担任制の導入」、「理科読・算数・数学読感想文コンクールの実施」、「理科支援員の配置」、「観察・実験器具の装備」、「科学研究作品展を開催」等の充実を図った。 ③きめ細かな児童生徒の指導に努めた。 ④小中学生の外国語によるコミュニケーション能力の向上を図った。 ⑤読書活動の推進、国語力の向上を図るべく学校図書館司書を配置した。
成 果	①全小・中学校、幼稚園を訪問し、適切な指導・助言を行うことができた。 ②理科支援員を小学校4校に3名配置。また理科読、算数・数学読感想文コンクールを全校で実施、充実を図ることができた。 ③生活指導員、心の教室相談員をはじめ、学校問題解決支援員・生徒指導対策支援員を配置し、指導の充実を図ることができた。 ④9名のALT配置により、全小中学校を対象に英語によるコミュニケーション能力向上を図ることができた。 ⑤4校3名の司書配置により、児童の読書に対する興味・関心の向上、図書室環境の整備を図ることができた。

②相談・指導の充実	
取組み	①担任教師の学級経営の支援を行い、子どもの心の居場所となる学級集団の育成を目指し、生活指導員を配置した。 ②臨床心理の専門家や心理学専攻の大学院生等を配置し、教育相談室を運営した。
成果	①35名の生活指導員を配置、問題行動の見られる児童が所属する学級の安定を図ることができた。 ②4名の大学院生を配置し、教育相談室に通室する児童生徒の支援を図ることができた。
③教職員の資質向上	
取組み	①人権教育研修会、教育論文研修会を実施した。 ②指導主事等の学校訪問による助言・指導を行った。
成果	①小中学校管理職を対象とした研修会を開催し、約70名の参加者が、学習者（児童・生徒など）の人権尊重のための知識、技術および態度を養うことができた。また、優秀賞などの発表を含む研修会を開催し、論文力の向上を図ることができた。 ②市内全小中学校及び公立幼稚園を訪問し、助言・指導し、指導力・授業力の向上を図ることができた。
④学校施設・設備の充実	
取組み	①学校施設管理として、設備の保守点検や警備委託等を行った。 ②耐震化事業として、川島小・竹島小・古里小・新治小・小栗小の校舎、大田小の屋内運動場、下館中校舎の耐震補強、大規模改造工事及び鳥羽小の屋内運動場大規模改造工事を実施した。 ③施設整備事業として、下館西中・下館南中の校舎附帯工事を実施した。
成果	①安全・安心で快適な学校環境を確保することができた。 ②小中103棟中97棟で耐震性が確保され、耐震化率は平成26年度末で94.2%となった。
⑤学校給食の充実と効率的運営	
取組み	①衛生検査の一層の充実 ②筑西食の日などテーマをもうけながら、地元農産物の積極的な導入 ③栄養教諭と栄養士を中心とした、食育の推進 ④老朽化した施設及び調理器具等の整備 ⑤学校給食における食物アレルギー児童生徒への対応
成果	①衛生検査を実施し、法基準を順守し、安全な給食の提供を図ることができた。 ②筑西食の日を実施し、地場産物を積極的に導入した。茨城県民の日を11月に実施。毎月、地産地消の日。1月に1週間、茨城県の味、米粉パン、地産地消の実施。1月末に1週間全国学校給食週間実施。 ③食に関する指導の実施を図った。 ④新学校給食センター整備事業で建設工事を実施した。老朽化した保冷库の更新を図った。 ⑤学校における食物アレルギー対応マニュアルを策定、食物アレルギー児童生徒への対応の指針とした。また牛乳アレルギー児童生徒に対する給食費の減免規定を定めた。

## 施策コスト

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
① 本施策を構成する 事務事業の数	事業	63	65	63	73	
② 本施策を構成する事務事業に 従事する職員数	人	18.10	20.86	22.07		
③ 施策事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	6,015,777	5,674,437	4,821,170	2,947,336	
④ 施策事業費 (事務事業の人件費合計)	千円	147,787	161,853	180,511		
⑤ トータルコスト(③+④)	千円	6,163,564	5,836,290	5,001,681		

## 施策の結果評価

評価の観点		点数
評価内容		
<b>(1) 施策の進捗度 (達成度)</b>		
一次評価	進捗している	24
理由		
計画的な改築・耐震化が図られている。 学校や関係機関と連携を図り教育内容の充実が図られている。		
最終評価	進捗している	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(2) 施策の効率性・効果性 (費用対効果の観点)</b>		
一次評価	どちらかといえば高い	24
理由		
耐震化事業の対象数が27校あり、棟数も多いことから多額の費用を要している。		
最終評価	どちらともいえない	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
費用対効果の観点から評価を下方修正する。		
<b>(3) 県内自治体との比較 (県内自治体との成果実績を比較)</b>		
一次評価	ほぼ同水準である	4
理由		
計画的な改築・耐震化が図られている。		
最終評価	ほぼ同水準である	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(4) 市民の期待との比較 (市民が期待する水準と成果実績の比較)</b>		
一次評価	ほぼ同水準である	4
理由		
計画的な改築・耐震化が図られている。		
最終評価	ほぼ同水準である	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(5) 施策の優先度 (他の施策との比較)</b>		
一次評価	高い	29
理由		
改築・耐震化を進める必要がある きめ細かな児童生徒の指導が必要である。		
最終評価	高い	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>一次評価に対する施策の事後評価 (数値化による評価)</b>		
<b>A</b>	施策目標に向けて順調	<b>84</b>

## 【総合評価】 (施策の今後の方向性)

前年度	最終評価	拡充
	施策や取組に対する提言	少子化、人口減少に対応するため、学校及び施設の適正配置、小中一貫校の導入に向けた施策展開を推進されたい。
	一次評価	拡充
	理由	学校校舎等の耐震化・改築は引き続き必要であるが、今後については適正配置・小中一貫校等を含め検討、施策展開が必要である。
	最終評価 (ヒアリング結果)	拡充
	施策や取組に対する提言	学校及び施設の適正配置、小中一貫教育の導入に向けた施策展開を推進されたい。



## 未達成の課題

未達成の課題	学校施設耐震化・給食センター等施設整備を進める 小中一貫教育の推進を図る
--------	---

## 今後の施策展開

(1) 平成27年度 の施策展開	・小中学校施設6校で、6棟の耐震補強・大規模改造事業、2棟の大規模改造事業を進め、平成27年度末までに耐震化の完了を目指す ・新学校給食センターによる配食開始 ・小中一貫教育検討委員会による基本構想、実施計画の策定
(2) 平成28年度 の施策展開	・小中一貫教育実施に向けた事業の展開 ・学校施設・設備の充実を図るため、施設環境整備改修事業を進める。 ・老朽化した協和給食センターの統廃合等に向けた事業の展開
(3) 平成29年度 以降の施策展開	・学校施設・設備の充実を図るため、施設環境整備改修事業を進める。 ・小中一貫教育実施に向けた事業の展開 ・協和給食センターでの給食業務終了、以降下館・明野学校給食センターによる給食業務の展開

### 本施策を構成する事務事業

新規	事務事業名称		事業費（千円）		従事職員数（人）		今後の事業の方向性
			平成25年度		平成26年度		
	平成26年度		平成27年度				
	担当課名		平成27年度				
04020201 IVいきいき・2子どもの・2生きる力・①教育内容・環境の充実							
	1824	小中学校運営関係経費	15,939		0.47		-
			17,793		0.34		
	650300	学務課	20,813				
○	2451	小中一貫教育推進事業	0		0.00		-
			0		0.00		
	650300	学務課	461				
	1825	就学時健康診断事業	1,385		0.63		-
			1,357		0.69		
	650300	学務課	1,597				
	1826	教育振興関係経費	64		0.23		-
			32		0.12		
	650300	学務課	175				
	1827	真岡市義務教育委託経費	1,000		0.07		現行どおり
			1,000		0.12		
	650300	学務課	1,000				
	1830	要・準要保護児童生徒就学援助事業	26,226		0.20		-
			63,805		0.29		
	650300	学務課	72,752				
	1832	特別支援教育就学援助事業	4,287		0.20		-
			7,202		0.26		
	650300	学務課	8,086				
	1834	理科教育設備振興備品整備事業	27,793		0.15		現行どおり
			0		0.00		
	650300	学務課	3,000				
	1835	小中体育連盟支援事業	1,720		0.12		現行どおり
			1,720		0.33		
	650300	学務課	1,720				
	2333	住民情報システム（就学管理）運営経費	34		0.08		現行どおり
			35		0.26		
	650300	学務課	36				
	1838	外国語指導経費	27,547		0.02		拡充
			27,994		0.06		
	650300	学務課	32,300				
	1843	TT非常勤講師配置事業	0		0.03		-
			0		0.00		
	650300	学務課	4,778				
	1845	理科支援員等配置事業	950		0.02		現行どおり
			950		0.06		
	650300	学務課	950				
	1846	学びの広場サポートプラン事業	1,081		0.03		拡充
			996		0.03		
	650300	学務課	1,051				
	1847	教育研究会交付金事業	5,580		0.02		現行どおり
			5,580		0.10		
	650300	学務課	5,580				
	2270	原子力・エネルギー教育支援事業	1,190		0.02		現行どおり
			1,505		0.03		
	650300	学務課	2,000				
	2309	学校図書館司書配置事業	2,684		0.09		拡充
			2,566		0.09		
	650300	学務課	4,741				
	2434	生徒指導対策支援員配置事業	0		0.00		現行どおり
			2,982		0.04		
	650300	学務課	7,350				
○	2453	子ども議会開催事業	0		0.00		-
			0		0.00		
	650300	学務課	366				
	1863	特別支援学級運営事業	1,190		0.02		-
			1,549		0.04		
	650300	学務課	1,688				

新規	事務事業名称		事業費(千円)		従事職員数(人)		今後の事業の方向性
			平成25年度		平成26年度		
	平成26年度		平成27年度		担当課名		
	平成27年度						
	1866	小学校運営関係費	133,167		0.21		-
			139,537		0.19		
	650300	学務課	151,512				
	1867	小学校保健運営事業	26,885		0.13		-
			26,528		0.42		
	650300	学務課	24,682				
	1872	小学校教育振興事業	28,246		0.09		-
			28,367		0.13		
	650300	学務課	31,196				
	1883	中学校運営関係費	86,942		0.15		-
			92,710		0.15		
	650300	学務課	101,504				
	1884	中学校保健運営事業	12,976		0.13		-
			15,055		0.40		
	650300	学務課	13,468				
	1889	中学校教育振興事業	17,590		0.09		-
			15,930		0.13		
	650300	学務課	16,192				
	1890	中学校特別活動助成事業	23,550		0.09		拡充
			25,290		0.30		
	650300	学務課	28,000				
	1874	社会科副読本作成事業	0		0.00		-
			0		0.00		
	650300	学務課	0				
04020202 IVいきいき・2子どもの・2生きる力・②相談・指導の充実							
	2410	派遣主事設置費	0		0.08		-
			55,308		0.06		
	650300	学務課	56,140				
	1836	教育指導経費	2,459		0.02		-
			1,725		0.10		
	650300	学務課	2,525				
	1844	スクールライフサポーター活用事業	328		0.03		現行どおり
			328		0.02		
	650300	学務課	345				
	1859	教育相談室運営事業	8,538		0.03		-
			8,477		0.05		
	650300	学務課	8,607				
	1860	心の教室相談員運営事業	6,141		0.03		-
			5,470		0.03		
	650300	学務課	5,534				
	1861	生活指導員配置事業	26,892		0.03		現行どおり
			28,246		0.03		
	650300	学務課	35,700				
	2294	学校問題解決支援事業	417		0.04		現行どおり
			2,265		0.03		
	650300	学務課	2,457				
	1864	教育支援委員会運営経費	649		0.13		-
			593		0.07		
	650300	学務課	905				
	1842	児童生徒指導対策交付金経費	0		0.00		-
			0		0.00		
	650300	学務課	0				
04020203 IVいきいき・2子どもの・2生きる力・③教職員の資質向上							
	1837	指導主事設置経費	45,436		0.02		-
			0		0.00		
	650300	学務課	0				
○	2479	小学校教師用教科書等支給事業	0		0.00		-
			0		0.00		
	650300	学務課	33,586				

新規	事務事業名称		事業費（千円）		従事職員数（人）		今後の事業の方向性
			平成25年度		平成26年度		
	平成26年度		平成27年度				
	担当課名		平成27年度				
	1839	教職員研修事業	0	0.00	0	0.00	-
	650300	学務課	0				
	1891	教師用指導書支給事業	0	0.00	0	0.00	-
	650300	学務課	0				
04020204 IVいきいき・2子どもの・2生きる力・④学校施設・設備の充実							
	1840	教育情報化推進事業費	18,786	0.48	14,095	0.45	-
	650300	学務課	14,804				
	1841	教育情報化整備事業費	190,301	0.48	66,617	0.45	現行どおり
	650300	学務課	93,672				
	1868	小学校施設管理費	40,010	0.35	37,771	0.35	-
	653000	施設整備課	51,735				
	1880	小学校施設営繕事業	22,166	0.60	20,994	0.85	現行どおり
	653000	施設整備課	23,000				
	1881	小学校耐震化事業	1,217,076	2.10	996,959	3.15	現行どおり
	653000	施設整備課	755,163				
	1885	中学校施設管理費	19,854	0.35	19,731	0.35	-
	653000	施設整備課	26,058				
	1896	中学校施設営繕事業	10,041	0.60	8,471	0.90	現行どおり
	653000	施設整備課	8,800				
	1897	中学校耐震化事業	421,658	1.05	505,024	1.10	現行どおり
	653000	施設整備課	309,996				
○	2386	中学校空調設備等整備事業	0	0.00	0	0.00	-
	653000	施設整備課	23,685				
○	2385	中学校施設環境整備改修事業	0	0.00	0	0.00	-
	653000	施設整備課	29,031				
	1898	下館中学校屋内運動場整備事業	23,089	0.40	0	0.00	-
	653000	施設整備課	0				
	1899	下館西中学校校舎整備事業	976,800	0.60	259,940	0.50	休止・廃止・
	653000	施設整備課	0				
	1900	下館南中学校校舎整備事業	251,115	0.60	280,579	0.60	休止・廃止・
	653000	施設整備課	0				
	1901	下館北中学校整備事業	910,787	0.60	0	0.00	-
	653000	施設整備課	0				
	1902	明野中学校屋内運動場整備事業	229,500	0.60	0	0.00	-
	653000	施設整備課	0				
	2381	小学校施設環境整備改修事業	0	0.00	0	0.00	-
	653000	施設整備課	0				
04020205 IVいきいき・2子どもの・2生きる力・⑤学校給食の充実と効率的運営							
	2349	学校給食運営事業	4,625	0.35	4,877	0.75	-
	651800	学校給食課	2,791				

新規	事務事業名称		事業費（千円）		従事職員数（人）		今後の事業の方向性
			平成25年度		平成26年度		
	担当課名		平成26年度		平成27年度		
			平成27年度				
	2013	給食運営参画事業	101		0.10		-
			101		0.10		
	651800	学校給食課	101				
	2010	自校式学校給食運営事業	55,871		1.05		-
			54,199		0.95		
	651800	学校給食課	0				
	2012	自校式学校給食提供事業	216,787		0.85		-
			211,428		0.80		
	651800	学校給食課	0				
	2014	学校給食センター整備事業	122,056		2.30		現行どおり
			1,366,055		2.10		
	651800	学校給食課	76,405				
	2011	自校式学校給食営繕事業	0		0.00		-
			0		0.00		
	651800	学校給食課	0				
	2015	下館学校給食センター運営事業	53,094		1.00		拡充
			52,816		1.00		
	652100	下館学校給食センター	243,583				
	2016	下館学校給食センター給食提供事業	98,431		0.70		拡充
			97,383		0.70		
	652100	下館学校給食センター	329,910				
	2017	下館学校給食センター給食運営参画事業	10		0.00		-
			10		0.00		
	652100	下館学校給食センター	10				
○	2505	下館学校給食センター改修事業	0		0.00		-
			0		0.00		
	652100	下館学校給食センター	0				
	2019	明野学校給食センター運営事業	52,022		0.65		現行どおり
			50,541		0.65		
	652400	明野学校給食センター	59,981				
	2020	明野学校給食センター給食提供事業	76,712		0.30		現行どおり
			72,377		0.30		
	652400	明野学校給食センター	75,282				
	2021	明野学校給食センター給食運営参画事業	10		0.05		-
			10		0.05		
	652400	明野学校給食センター	10				
	2023	協和学校給食センター運営事業	47,849		0.60		現行どおり
			48,506		0.60		
	652700	協和学校給食センター	59,639				
	2024	協和学校給食センター給食提供事業	70,133		0.39		現行どおり
			68,388		0.35		
	652700	協和学校給食センター	70,677				
	2025	協和学校給食センター給食運営参画事業	10		0.01		-
			10		0.05		
	652700	協和学校給食センター	10				
	2310	協和学校給食センター設備改修事業	6,657		0.00		現行どおり
			1,393		0.00		
	652700	協和学校給食センター	10,196				

# 平成27年度 施策評価シート (平成26年度実績評価)

施策	基本構想	04	IVいきいきと伸びやかに育つ人と文化のまちづくり
	政 策	02	2 子どもの能力を伸ばす教育の充実
	施 策	03	3 高等教育機関等との連携

## 施策の概要

基本施策	
01	①地域と教育機関との連携
02	②高等教育機関の立地誘導と連携
主管課	
650300	学務課
関係課	
施策の基本目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域と教育機関との連携を通じて、高度化・専門化する学習ニーズに対応した学習機会を創出するとともに、地域の教育・学習の場として開かれた学校づくりに努める。</li> <li>●時代の要請に応えられるよう、大学等の高等教育機関の誘致を図り、市民がどのライフステージでも高等教育の機会が得られるよう、関係機関に働きかける。</li> </ul>	

## 目標指標・成果指標の推移

### これまでの取組と成果

①地域と教育機関との連携	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高等教育機関との提携事業、人材の活用、各種イベントの協力などを通じた地域交流の推進</li> <li>●明野高校による明野地区の幼・小・中学校への出前授業の実施</li> </ul>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高等学校の新入学生徒募集、中高一貫校の紹介パンフレットの配付により、周知が図られた。</li> </ul>
②高等教育機関の立地誘導と連携	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知事への県西地域振興要望等各種要望活動を通じた、高等教育機関の誘致活動</li> <li>●大学公開講座等を通じた高等教育機関との連携</li> </ul>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高等教育機関の誘致には至らなかった。</li> <li>●大学の行う公開講座について、ポスターの掲示やパンフレットを配布、広く知らしめた。</li> </ul>

## 施策コスト

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
① 本施策を構成する事務事業の数	事業	1	1	1	1	1
② 本施策を構成する事務事業に従事する職員数	人	0.04	0.04	0.14	0.14	0.14
③ 施策事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	0	0	60	180	180
④ 施策事業費 (事務事業の人件費合計)	千円	327	310	1,145	1,145	1,145
⑤ トータルコスト(③+④)	千円	327	310	1,205	1,325	1,325

## 施策の結果評価

評価の観点		
評価内容		点数
<b>(1) 施策の進捗度 (達成度)</b>		
一次評価	進捗している	24
理由		
高等教育機関の誘致、高等教育機関との連携等が遅れている。 奨学金貸付制度を利用者に貸付を行った。		
最終評価	進捗している	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(2) 施策の効率性・効果性 (費用対効果の観点)</b>		
一次評価	どちらともいえない	18
理由		
現状成果が現れているとはいえない		
最終評価	どちらともいえない	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(3) 県内自治体との比較 (県内自治体との成果実績を比較)</b>		
一次評価	どちらかといえば低い水準にある	2
理由		
平成26年度1件の貸付実績があるが、奨学金制度のある他の自治体に比べ低い		
最終評価	どちらかといえば低い水準にある	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(4) 市民の期待との比較 (市民が期待する水準と成果実績の比較)</b>		
一次評価	どちらかといえば低い水準にある	2
理由		
奨学金制度に対する問合せ等はあるが、金額等も少額であることなどから要望には応えられていない。		
最終評価	どちらかといえば低い水準にある	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(5) 施策の優先度 (他の施策との比較)</b>		
一次評価	どちらかといえば低い	12
理由		
高等教育機関の誘致は、現在の社会情勢から停滞している		
最終評価	どちらともいえない	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
本施策は、地域と教育機関との連携を通じて、高度化・専門化する学習ニーズに対応した学習機会の場としての学校づくりといった地域交流を推進する役割を担っていることから、評価を上方修正する。		
<b>一次評価に対する施策の事後評価 (数値化による評価)</b>		
<b>B</b>	<b>施策目標に向けておおむね順調</b>	<b>58</b>

### 【総合評価】 (施策の今後の方向性)

前年度	最終評価	現状のまま継続
	施策や取組に対する提言	育英資金貸付事業の今後の在り方について検討されたい。
	一次評価	<b>現状のまま継続</b>
	理由	平成26年度貸付者がいるため、奨学金制度については現状制度を継続。しかし今後貸付者増も見込めないため制度について検討が必要。
	最終評価 (ヒアリング結果)	<b>事業内容の再構築</b>
	施策や取組に対する提言	次期総合計画策定に合わせた事業内容の再構築を図られたい。

## 未達成の課題

未達成の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>●高等教育機関の誘致</li><li>●育英資金貸付実績</li></ul>
--------	--

## 今後の施策展開

(1) 平成27年度の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>●高等教育機関の誘致について、県西地域振興要望にて知事へ要望書提出</li><li>●育英資金貸付制度の広報</li></ul>
(2) 平成28年度の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>●高等教育機関の誘致について、県西地域振興要望にて知事へ要望書提出</li><li>●育英資金貸付制度の広報</li></ul>
(3) 平成29年度以降の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>●高等教育機関の誘致について、県西地域振興要望にて知事へ要望書提出</li><li>●育英資金貸付制度の広報</li></ul>



本施策を構成する事務事業

新規	事務事業名称	事業費（千円）		従事職員数（人）		今後の事業の方向性
		平成25年度		平成26年度		
		平成26年度		平成27年度		
	担当課名					
04020301 IVいきいき・2子どもの・3高等教育・①地域と教育機関との連携						
	1829 育英資金貸付事業		0		0.04	現行どおり
			60		0.14	
	650300 学務課		180			

# 平成27年度 施策評価シート (平成26年度実績評価)

施策	基本構想	04	IVいきいきと伸びやかに育つ人と文化のまちづくり
	政 策	03	3 地域で進める青少年の健全育成
	施 策	01	1 青少年の健全育成

## 施策の概要

基本施策	
01	①推進体制の充実
02	②青少年団体の育成・支援
03	③非行防止活動の推進
主管課	
653600	生涯学習課
関係課	
施策の基本目標	
●家庭や地域が果たす役割の重要性を再認識し、家庭・学校・地域が一体となって青少年の健全育成に努めるとともに、主体的に活動できる場の創出を図り、青少年が思いやりの心や豊かな人間性を育むことができる環境づくりを進める。	

## 目標指標・成果指標の推移

成果指標 1	目標・成果項目	地域子ども安全ボランティア登録者数						
	考え方・式等	多くのボランティアの方々に活動いただくことにより、一層子どもたちの安全が確保できる。						
	目標年度	平成 28 年度	目指す方向	↑	目標値	7,000	達成率(%)	93.0
	単 位	人						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
実 績	6,557	6,513	6,509					
成果指標 2	目標・成果項目	子どもを守る110番の家登録数						
	考え方・式等	緊急避難場所を数多く確保することにより、子どもたちの安全を確保する。						
	目標年度	平成 28 年度	目指す方向	↑	目標値	3,500	達成率(%)	83.1
	単 位	軒						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
実 績	2,950	2,958	2,910					

## これまでの取組と成果

①推進体制の充実	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子ども安全ボランティア、子どもを守る110番の家の募集と登録を実施した。</li> <li>・成人式典を開催した。</li> <li>・青少年センターの運営を行った。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年を取りまく社会環境や現状についての情報を共有化することができた。</li> <li>・4地区において成人式実行委員会による式典が開催された。</li> <li>・青少年育成筑西市民の会をはじめとする各青少年健全育成活動団体による活動が活発に行われ、青少年を取り巻く良好な環境の整備と青少年の健全育成事業が積極的に展開された。</li> <li>・子どもたちの安全が守られ、かつ、緊急避難場所が確保されるなど、市民の意識が高められた。</li> </ul>
②青少年団体の育成・支援	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑西市子ども会育成連合会に補助金を交付した。</li> <li>・青少年育成筑西市民の会に補助金を交付した。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑西市子ども会育成連合会を助成し、子ども会活動を活発化させるとともに子どもたちを取り巻く環境を充実させることができた。</li> <li>・青少年育成筑西市民の会の活動を助成し、青少年の健全育成事業の展開が図られ、活動に対する市民の意識を高めることができた。</li> </ul>

③非行防止活動の推進	
取組み	・青少年相談員を委嘱し、街頭指導・電話相談などの事業を展開した。
成果	・青少年相談員等による街頭指導、電話相談活動により、青少年の健全育成活動を活発化させ青少年を取り巻く良好な環境が整備された。 ・関係団体との連携により、地域ぐるみでの非行防止活動を展開することができた。 ・学校の長期休業前に学校警察連絡協議会を開催し、課題や情報の共有化を図ることができた。

### 施策コスト

項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
① 本施策を構成する事務事業の数	事業	7	7	7	7	
② 本施策を構成する事務事業に従事する職員数	人	4.35	5.53	4.67		
③ 施策事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	12,357	12,253	12,228	13,116	
④ 施策事業費 (事務事業の人件費合計)	千円	35,518	42,907	38,196		
⑤ トータルコスト(③+④)	千円	47,875	55,160	50,424		

## 施策の結果評価

評価の観点		
評価内容		点数
<b>(1) 施策の進捗度 (達成度)</b>		
一次評価	進捗している	24
理 由		
各青少年育成団体相互の人的連携も良好であり、総合的に青少年の健全育成、非行防止対策事業が展開されている。		
最終評価	進捗している	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(2) 施策の効率性・効果性 (費用対効果の観点)</b>		
一次評価	どちらかといえば高い	24
理 由		
ボランティア活動により様々な青少年健全育成活動が活発に行われており、成果を上げている。		
最終評価	どちらかといえば高い	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(3) 県内自治体との比較 (県内自治体との成果実績を比較)</b>		
一次評価	かなり高い水準にある	6
理 由		
青少年育成市民の会、筑西市子ども会育成連合会、地域子どもボランティア登録者の活動、筑西市青少年相談員による巡回指導活動など、充実した青少年健全育成活動・非行防止活動が展開されている。		
最終評価	どちらかといえば高い水準にある	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
市民団体の活動については評価できるが、施策全体としてはかなり高い水準にあると思われなことから、評価を下方修正する。		
<b>(4) 市民の期待との比較 (市民が期待する水準と成果実績の比較)</b>		
一次評価	どちらかといえば高い水準にある	5
理 由		
青少年育成市民の会、筑西市子ども会育成連合会、地域子どもボランティア登録者の活動、筑西市青少年相談員による巡回指導活動など、充実した青少年健全育成活動・非行防止活動が展開されている。		
最終評価	どちらかといえば高い水準にある	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(5) 施策の優先度 (他の施策との比較)</b>		
一次評価	高い	29
理 由		
筑西市の次代を担う青少年が心豊かに健やかに成長することは、市民すべての願いである。		
最終評価	高い	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>一次評価に対する施策の事後評価 (数値化による評価)</b>		
<b>A</b>	施策目標に向けて順調	<b>87</b>

### 【総合評価】 (施策の今後の方向性)

前年度	最終評価	現状のまま継続
	施策や取組に対する提言	情報通信機器によるいじめや、有害情報の氾濫といった青少年を取り巻く環境が変化するなか、学校や関係機関、青少年育成団体、家庭、地域が一致協力し青少年の健全育成に努められたい。
	一次評価	現状のまま継続
	理由	青少年センター、各青少年育成活動団体との連携を一層強化しながら、青少年の健全育成事業を推進します。
	最終評価 (ヒアリング結果)	現状のまま継続
	施策や取組に対する提言	情報通信機器によるいじめや、有害情報の氾濫といった青少年を取り巻く環境が変化するなか、今後も学校や関係機関、青少年育成団体、家庭、地域が一致協力し青少年の健全育成に努められたい。

## 未達成の課題

未達成の課題	・昨今の、情報機器等（携帯電話、情報端末機）の浸透により、青少年のみならず、小学校低学年での利用と影響が懸念される。また、ネット上でのいじめ問題、有害情報の氾濫などによる事件、事故の発生が危惧される。利用実態が把握しきれない状況にある。
--------	--

## 今後の施策展開

(1) 平成27年度の施策展開	青少年の健全育成団体の活性化と活動支援を図る。 地域ぐるみでの活動の強化を図る。 「地域子ども安全ボランティア」「子どもを守る110番の家」の募集と登録。
(2) 平成28年度の施策展開	青少年の健全育成団体の活性化と活動支援を図る。 地域ぐるみでの活動の強化を図る。 「地域子ども安全ボランティア」「子どもを守る110番の家」の募集と登録。
(3) 平成29年度以降の施策展開	青少年の健全育成団体の活性化と活動支援を図る。 地域ぐるみでの活動の強化を図る。 「地域子ども安全ボランティア」「子どもを守る110番の家」の募集と登録。

本施策を構成する事務事業

新規	事務事業名称 担当課名	事業費（千円）		従事職員数（人）		今後の事業 の方向性
		平成25年度		平成26年度		
		平成26年度		平成27年度		
		平成27年度				
04030101 IVいきいき・3地域で進・1青少年の・①推進体制の充実						
1921	社会教育一般事務事業	1,721		0.50		-
		1,791		0.38		
653600	生涯学習課	1,917				
1925	成人式開催事業	1,419		0.50		-
		1,396		0.38		
653600	生涯学習課	1,560				
1926	青少年育成事業	110		2.97		-
		41		1.87		
653600	生涯学習課	418				
1929	青少年育成参画事業	282		0.05		-
		281		0.12		
653600	生涯学習課	288				
1934	住民情報システム（成人式）運営経費	74		0.03		現行どおり
		69		0.10		
653600	生涯学習課	69				
04030102 IVいきいき・3地域で進・1青少年の・②青少年団体の育成・支援						
1928	青少年育成支援補助事業	3,072		0.05		現行どおり
		3,072		1.05		
653600	生涯学習課	3,072				
04030103 IVいきいき・3地域で進・1青少年の・③非行防止活動の推進						
1927	青少年センター事業	5,575		1.43		-
		5,578		0.77		
653600	生涯学習課	5,792				

# 平成27年度 施策評価シート (平成26年度実績評価)

施策	基本構想	04	IVいきいきと伸びやかに育つ人と文化のまちづくり
	政 策	03	3 地域で進める青少年の健全育成
	施 策	02	2 家庭・学校・地域の連携

## 施策の概要

基本施策			
01	①家庭・学校・地域の連携		
02	②家庭や地域の教育力の向上		
主管課			
653600	生涯学習課		
関係課			
650300	学務課		
施策の基本目標			
●家庭、学校、地域が一体となって、相互の教育機能を高めながら社会環境の改善に努めるとともに、指導体制や相談・情報機能を充実し、青少年の健全育成を図る。			

## 目標指標・成果指標の推移

成果指標 1	目標・成果項目	自然体験活動への参加者数						
	考え方・式等	創造・体験の場としてのニーズを把握する						
	目標年度	平成 28 年度	目指す方向	↑	目標値	3,000	達成率(%)	88.4
	単 位	人						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
実 績	2,532	2,247	2,651					
成果指標 2	目標・成果項目	家庭教育学級数						
	考え方・式等	家庭教育学級の開設数増を図る						
	目標年度	平成 28 年度	目指す方向	↑	目標値	47	達成率(%)	91.5
	単 位	学級						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
実 績	43	42	43					

## これまでの取組と成果

①家庭・学校・地域の連携	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室を開催した。</li> <li>・筑西市PTA連絡協議会へ補助金を交付した。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後における安全で安心な子どもの活動拠点を設け、地域の人たちの協力を得て、体験学習や文化活動に取り組むことができた。</li> <li>・筑西市小中学校PTA連絡協議会支援事業として補助金を交付し、単位PTA相互の連携と活動を促進することができた。</li> </ul>
②家庭や地域の教育力の向上	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑西市家庭教育学級を開設した。</li> <li>・茨城県社会教育振興協議会、茨城県社会教育主事会への参加・促進を図った。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑西市家庭教育学級運営委員会を組織し、活動を通じた「子育て体験記」を作成した。</li> <li>・協議会等への参加により、情報交換、共有化が図られた。</li> </ul>

## 施策コスト

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
① 本施策を構成する 事務事業の数	事業	4	4	4	6	
② 本施策を構成する事務事業に 従事する職員数	人	1.32	0.65	1.26		
③ 施策事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	17,307	22,768	19,195	23,207	
④ 施策事業費 (事務事業の人件費合計)	千円	10,778	5,043	10,306		
⑤ トータルコスト(③+④)	千円	28,085	27,811	29,501		



## 施策の結果評価

評価の観点		
評価内容		点数
<b>(1) 施策の進捗度 (達成度)</b>		
一次評価	進捗している	24
理 由		
こどもを守る110番の登録は一定数値を保ち、地域子ども安全ボランティア活動については、地域で活動の充実がみられ、徐々に活動は進捗している。		
最終評価	進捗している	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(2) 施策の効率性・効果性 (費用対効果の観点)</b>		
一次評価	どちらかといえば高い	24
理 由		
地域子ども安全ボランティアや子どもを守る110番の家、家庭教育学級活動など、自主的な活動が展開されている。		
最終評価	どちらかといえば高い	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(3) 県内自治体との比較 (県内自治体との成果実績を比較)</b>		
一次評価	かなり高い水準にある	6
理 由		
地域の子どもは地域で見守る等の意識の浸透や、家庭教育学級における社会教育指導員の指導・助言など充実している。		
最終評価	どちらかといえば高い水準にある	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
施策全体としては、かなり高い水準にあると思われることから、評価を下方修正する。		
<b>(4) 市民の期待との比較 (市民が期待する水準と成果実績の比較)</b>		
一次評価	ほぼ同水準である	4
理 由		
地域子どもボランティアや家庭教育学級活動など、自主的な活動状況からほぼ同水準と思われる。		
最終評価	ほぼ同水準である	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(5) 施策の優先度 (他の施策との比較)</b>		
一次評価	どちらかといえば高い	24
理 由		
学校・地域・家庭の連携強化や地域の教育力向上は、青少年健全育成の観点から求められている。		
最終評価	どちらかといえば高い	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>一次評価に対する施策の事後評価 (数値化による評価)</b>		
<b>B</b>	施策目標に向けておおむね順調	80

### 【総合評価】 (施策の今後の方向性)

前年度	最終評価	現状のまま継続
	施策や取組に対する提言	目標指標達成に向けて、関係団体と連携を強化し、施策展開を推進されたい。
	一次評価	現状のまま継続
	理由	各関係団体との連携を深めながら、施策目標に向けて計画的に推進する。
	最終評価 (ヒアリング結果)	現状のまま継続
	施策や取組に対する提言	放課後こども教室や土曜日学習を通じた家庭・学校・地域の連携を強化するとともに、家庭と地域の教育力の向上に努められたい。

## 未達成の課題

未達成の課題	家庭教育学級47学級の開設を目指す。
--------	--------------------

## 今後の施策展開

(1) 平成27年度の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・放課後子ども教室の実施。</li><li>・家庭教育学級開設数増及び活動内容の充実を図る。</li><li>・小中学生を対象とした土曜日学習の実施に努める。</li></ul>
(2) 平成28年度の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・放課後子ども教室の実施。</li><li>・家庭教育学級開設数増及び活動内容の充実を図る。</li><li>・小中学生を対象とした土曜日学習の実施に努める。</li></ul>
(3) 平成29年度以降の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・放課後子ども教室の実施。</li><li>・家庭教育学級開設数増及び活動内容の充実を図る。</li><li>・小中学生を対象とした土曜日学習の実施に努める。</li></ul>

本施策を構成する事務事業

新規	事務事業名称	事業費（千円）		従事職員数（人）		今後の事業の方向性
				平成25年度		
			平成26年度			
	担当課名		平成27年度			
04030201 IVいきいき・3地域で進・2家庭・学・①家庭・学校・地域の連携						
	1873	入学祝品支給事業	14,012		0.38	現行どおり
			14,673		0.30	
	650300	学務課	16,764			
	2409	通学用ヘルメット購入助成事業	6,382		0.07	現行どおり
			1,787		0.26	
	650300	学務課	1,926			
○	2461	中学生防犯用品支給事業	0		0.00	-
			0		0.00	
	650300	学務課	0			
	1931	放課後子ども教室推進事業	377		0.15	現行どおり
			662		0.56	
	653600	生涯学習課	998			
○	2462	土曜日教育支援体制構築事業	0		0.00	-
			0		0.00	
	653600	生涯学習課	1,351			
04030202 IVいきいき・3地域で進・2家庭・学・②家庭や地域の教育力の向上						
	1932	家庭教育学級事業	1,997		0.05	-
			2,073		0.14	
	653600	生涯学習課	2,168			

# 平成27年度 施策評価シート (平成26年度実績評価)

施策	基本構想	04	IVいきいきと伸びやかに育つ人と文化のまちづくり
	政策	04	4生涯スポーツの推進
	施策	01	1生涯スポーツの推進

## 施策の概要

基本施策	
01	①生涯スポーツの普及促進
02	②スポーツ活動の支援
03	③スポーツ施設の整備充実
主管課	
655400	スポーツ振興課
関係課	
施策の基本目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の生涯を通じたスポーツ活動の振興を目指し、各種スポーツ団体等の育成・支援を図る。</li> <li>●スポーツ施設等の整備充実を図るとともに健康づくり施設等との連携のもと柔軟で効果的な施設利用を推進する。</li> </ul>	

## 目標指標・成果指標の推移

成果指標 1	目標・成果項目	体育協会加盟団体						
	考え方・式等	スポーツの振興、技術の向上並びに生涯スポーツの推進を図る。						
	目標年度	平成 28 年度	目指す方向	↑	目標値	28	達成率 (%)	92.9
	単 位	団体						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	実 積	26	26	26				
成果指標 2	目標・成果項目	スポーツ少年団加盟団体						
	考え方・式等	スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化を推進し、地域の青少年健全育成を図る。						
	目標年度	平成 28 年度	目指す方向	↑	目標値	65	達成率 (%)	90.8
	単 位	団体						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	実 積	62	60	59				
成果指標 3	目標・成果項目	体育施設の利用者数						
	考え方・式等	市民のスポーツ・レクリエーション需要に対応するため、安全・安心な施設の整備を図る。						
	目標年度	平成 28 年度	目指す方向	↑	目標値	650,000	達成率 (%)	107.5
	単 位	人						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	実 積	747,990	719,463	698,740				

## これまでの取組と成果

①生涯スポーツの普及促進	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市体育協会等との連携、対外スポーツ及びスポーツ大会の補助により生涯スポーツの推進を図り、多くの市民にスポーツに親しむ機会を設けた。</li> <li>・ちくせいマラソン大会、こどもの日中学校柔剣道大会、少年柔剣道錬成大会、田宮杯中学校野球大会、その他、各種スポーツ大会開催の支援を行った。</li> <li>・下館総合体育館のトレーニング室に専門のインストラクターを配置し、個人にあった使用方法等を指導することにより市民の健康・体力づくりを図った。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを通じて競技団体相互の親睦を深めるとともに、補助事業（市民対外競技補助金）により市民の経済的負担の軽減に役立った。</li> <li>・ちくせいマラソン大会を開催するにあたり、国道50号バイパスをコースに加えた10kmの種目を日本陸上競技連盟公認コースとし、4,052人の参加者により大会を開催したことで、親睦や交流を図ることが出来た。</li> <li>・トレーニング室利用者に対して、正しいジム機器の利用及びトレーニング方法の普及に貢献した。</li> </ul>

②スポーツ活動の支援	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各スポーツ競技団体の指導者から市が委嘱するスポーツ推進委員による各種スポーツの研修、講習会、実技指導会等への積極的な参加を推進した。</li> <li>・文部科学省のスポーツ推進基本計画に基づいて設立された総合型地域スポーツクラブをスポーツ推進委員を中心として各中学校区に設立することを目指して、支援を行った。</li> <li>・スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、児童・生徒に体育スポーツを振興するため、スポーツ活動支援事業として、事業費の補助や活動支援を行った。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年2月に設立された総合型地域スポーツクラブ「ASKスポーツクラブ館西」を育成支援し、定期活動のスポーツ広場でバドミントン、卓球、バランスボール等の軽スポーツ、また、イベントとしてハイキング、スキー等を開催し地域住民に対してスポーツの普及促進を図った。</li> <li>・各地区において、スポーツ推進委員によるスナッグゴルフ、グランドゴルフ、輪投げ等の事業や実技指導が実施された。</li> </ul>
③スポーツ施設の整備充実	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館、武道館を良好な状態に保ち市民が安全に利用出来るよう、職員が定期的に施設を見回り、不良箇所等の確認を行った。</li> <li>・体育館等の施設については、空調、浄化槽、エレベーター、電気、消防施設、自動ドア、トレーニングジム機器等の保守点検を行い、市民の安全な利用に役立った。</li> <li>・運動場等の屋外体育施設については、除草、芝刈り、樹木剪定、消毒を委託し、不足箇所については適宜、職員が作業にあたった。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設等に植樹されている老木や高木等の通常の植栽管理では管理が行き届かない樹木について、剪定・伐採管理を行うことで、より良い環境整備を実施することが出来た。</li> <li>・学校施設の開放を推進するため、各地区において利用調整会議を開催し、スムーズな運営を図ることが出来た。</li> </ul>

### 施策コスト

項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
① 本施策を構成する事務事業の数	事業	9	10	11	11	
② 本施策を構成する事務事業に従事する職員数	人	7.00	7.00	6.10		
③ 施策事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	119,519	151,344	178,130	334,155	
④ 施策事業費 (事務事業の人件費合計)	千円	57,155	54,313	49,892		
⑤ トータルコスト(③+④)	千円	176,674	205,657	228,022		

## 施策の結果評価

評価の観点		
評価内容		点数
<b>(1) 施策の進捗度 (達成度)</b>		
一次評価	進捗している	24
理由		
各種スポーツ大会を開催するにあたって各々の実行委員会を組織し、市民自らの運営によって開催できるようになっている。また、地域に応じた個性豊かなスポーツ社会を実現させるため、総合型地域スポーツクラブを育成支援することができた。		
最終評価	進捗している	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(2) 施策の効率性・効果性 (費用対効果の観点)</b>		
一次評価	どちらかといえば高い	24
理由		
実行委員会を組織することで補助金・自己資金により、スムーズに大会を運営することが出来た。また、体育施設の安全性を保つため施設の改修や修繕を進めることが出来た。		
最終評価	どちらかといえば高い	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(3) 県内自治体との比較 (県内自治体との成果実績を比較)</b>		
一次評価	かなり高い水準にある	6
理由		
体育館施設、駐車場、スポーツ用具等が充実し、利用者に満足感を与えている。特に下館総合体育館については、市内大会から関東大会等、少年大会から成人の大会まで幅広く大会開催実績がある。		
最終評価	どちらかといえば高い水準にある	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
施設設備及び施設利用状況については評価できるが、施策全体としてはかなり高い水準にあると思われなことから、評価を下方修正する。		
<b>(4) 市民の期待との比較 (市民が期待する水準と成果実績の比較)</b>		
一次評価	ほぼ同水準である	4
理由		
市は、体育施設の整備を図るとともに、市民に対してスポーツ大会の開催や各種大会に対して積極的な支援を行っているが、市民は、野球場、サッカー場、テニスコート等更なる施設の整備充実を期待している。		
最終評価	ほぼ同水準である	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(5) 施策の優先度 (他の施策との比較)</b>		
一次評価	どちらかといえば高い	24
理由		
市民のスポーツ振興を図る上で、40歳代から50歳代の方々の参加できるスポーツが限られていることが課題である。また、財政面で厳しい状況下ではあるが、20年ないし30年が経過し老朽化した施設等の改修が不可欠である。		
最終評価	どちらかといえば高い	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>一次評価に対する施策の事後評価 (数値化による評価)</b>		
<b>B</b>	施策目標に向けておおむね順調	80

## 【総合評価】 (施策の今後の方向性)

前年度	最終評価	現状のまま継続
	施策や取組に対する提言	人口減少、施設の耐震化等を考慮し、老朽化した施設の維持管理については、統廃合も含めた設備の充実や今後の在り方を検討されたい。平成31年茨城国体剣道大会開催に向けた準備を進められたい。
	一次評価	拡充
	理由	平成31年開催の第74回茨城国体剣道競技の会場に下館総合体育館が内定したことから、年次計画により施設整備を進める必要がある。また、老朽化した施設についても、改修修繕等の整備を図る必要がある。
	最終評価 (ヒアリング結果)	現状のまま継続
	施策や取組に対する提言	指定管理者制度の導入を推進するとともに、老朽化した施設の統廃合も含めた施設の維持管理について検討されたい。平成31年茨城国体剣道大会開催に向けた準備を進められたい。

## 未達成の課題

未達成の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民のスポーツニーズに応じた指導者の育成とレベルアップ。</li><li>・スポーツ少年団加盟団体及び団員数が減少傾向にある。</li><li>・下館総合体育館が平成31年に開催される茨城国体剣道競技会場に内定したことによる施設整備。</li><li>・住民サービスの向上を目的とした指定管理者制度の導入。</li><li>・老朽化施設の改修。</li></ul>
--------	---

## 今後の施策展開

(1) 平成27年度の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・ちくせいマラソン大会の充実。</li><li>・各体育施設が老朽化していることから、改修、修繕等の整備を図り、安全な施設を提供する。</li><li>・子どもから高齢者まで、あらゆる市民のスポーツニーズに応じた具体的施策やスポーツ環境づくりを推進し、生涯スポーツ社会の実現を目指す。</li><li>・各体育館及び運動場の施設使用料の徴収や指定管理者制度の導入について検討する。</li></ul>
(2) 平成28年度の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・ちくせいマラソン大会の充実。</li><li>・各体育施設が老朽化していることから、改修、修繕等の整備を図り、安全な施設を提供する。</li><li>・子どもから高齢者まで、あらゆる市民のスポーツニーズに応じた具体的施策やスポーツ環境づくりを推進し、生涯スポーツ社会の実現を目指す。</li><li>・各体育館及び運動場の施設使用料の徴収や指定管理者制度の導入について検討する。</li></ul>
(3) 平成29年度以降の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・ちくせいマラソン大会の充実。</li><li>・各体育施設が老朽化していることから、改修、修繕等の整備を図り、安全な施設を提供する。</li><li>・子どもから高齢者まで、あらゆる市民のスポーツニーズに応じた具体的施策やスポーツ環境づくりを推進し、生涯スポーツ社会の実現を目指す。</li><li>・各体育館及び運動場の施設使用料の徴収や指定管理者制度の導入について検討する。</li></ul>

### 本施策を構成する事務事業

新規	事務事業名称 担当課名	事業費（千円）		従事職員数（人）		今後の事業 の方向性
		平成25年度		平成26年度		
		平成26年度		平成27年度		
		平成27年度				
<b>04040101 IVいきいき・4生涯スポ・1生涯スポ・①生涯スポーツの普及促進</b>						
1998	スポーツ推進審議会等関係経費	516		0.55		-
		738		0.32		
655400	スポーツ振興課	899				
1999	スポーツ推進参画事業	58		0.15		-
		61		0.22		
655400	スポーツ振興課	58				
2000	体育振興事業	1,109		0.75		-
		1,216		0.30		
655400	スポーツ振興課	781				
2002	各種大会支援事業	8,319		1.30		現行どおり
		8,693		1.15		
655400	スポーツ振興課	8,740				
2008	学校開放運営事業	79		0.65		-
		76		0.40		
655400	スポーツ振興課	116				
<b>04040102 IVいきいき・4生涯スポ・1生涯スポ・②スポーツ活動の支援</b>						
2001	スポーツ活動支援事業	9,205		1.35		現行どおり
		9,088		1.10		
655400	スポーツ振興課	9,430				
<b>04040103 IVいきいき・4生涯スポ・1生涯スポ・③スポーツ施設の整備充実</b>						
2004	体育館等管理運営経費	57,456		0.55		-
		62,496		1.15		
655400	スポーツ振興課	67,074				
2312	体育館等施設改修事業	20,318		0.45		現行どおり
		53,339		0.50		
655400	スポーツ振興課	203,397				
2006	体育施設運営参画事業	10		0.25		-
		10		0.11		
655400	スポーツ振興課	11				
2007	運動場等管理運営経費	37,842		0.55		-
		39,104		0.55		
655400	スポーツ振興課	41,423				
2313	運動場等施設改修事業	16,432		0.45		現行どおり
		3,309		0.30		
655400	スポーツ振興課	2,226				



# 平成27年度 施策評価シート (平成26年度実績評価)

施策	基本構想	04	IVいきいきと伸びやかに育つ人と文化のまちづくり
	政 策	05	5 地域文化の振興
	施 策	01	1 歴史・伝統文化の保全・継承・活用

## 施策の概要

基本施策	
01	①文化財の保護・保存と継承
02	②伝統文化の継承
03	③文化財の活用・教育普及
主管課	
653700	文化課
関係課	
650300	学務課
施策の基本目標	
●文化財の保護・保存と活用を推進し、将来にわたり継承に努める。また、地域の歴史や文化を掘り起こし、歴史の拠点づくりを推進する。	

## 目標指標・成果指標の推移

成果指標 1	目標・成果項目	指定文化財、国登録文化財の件数						
	考え方・式等	貴重な文化遺産を指定して、将来にわたり保護・保存する。						
	目標年度	平成 28 年度	目指す 方 向	↑	目標値	160	達成率 (%)	96.9
	単 位	件						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	実 績	156	155	155				

## これまでの取組と成果

①文化財の保護・保存と継承	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の保護と保存に関する管理、指導助言、調査と研究の推進を図った。</li> <li>埋蔵文化財の保護に関する適切な管理と指導を行った。</li> </ul>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災で被災した国指定文化財彫刻・市指定文化財彫刻・市指定文化財史跡について、所有者および市民団体の協力により復旧を果たした。</li> <li>台風で被害のあった国指定文化財史跡を復旧した。</li> <li>開発行為の事前照会に際して、埋蔵文化財の現地確認・試掘調査を実施し、適切な保護を図ることができた。</li> </ul>
②伝統文化の継承	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定文化財や重要遺跡の再調査の推進を図った。</li> <li>地域の文化財の掘り起こし及び再発見を推進した。</li> <li>太々神楽、明野薪能について、広報紙等により周知を図った。</li> </ul>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>県指定文化財工芸品（大袖鎧）について、専門家による調査を実施し、文化財の詳細を明らかにするとともに新たな知見を得た。</li> <li>登録有形文化財（建造物）の候補となる物件の所在調査を実施し、現況を把握することができた。</li> <li>太々神楽、明野薪能について、市民からの問い合わせは増加したが、思うような集客にはつながらなかった。</li> </ul>

③文化財の活用・教育普及	
取組み	・文化財に関する情報の発信、周知、人材の確保を図った。
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座や体験事業を行い、参加者に文化財に接する機会を提供し、文化財に対する関心と理解を深めることができた。</li> <li>・小学3年生による農業資料館の社会科見学により、昔の生活や道具に触れることで、理解を深めることができた。</li> <li>・板谷波山記念館において、波山の作品や功績を展示公開し、郷土の偉人への関心と理解を深めることができた。</li> </ul>

### 施策コスト

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
① 本施策を構成する事務事業の数	事業	5	5	5	4	
② 本施策を構成する事務事業に従事する職員数	人	1.49	1.49	1.80		
③ 施策事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	18,868	19,906	5,630	5,673	
④ 施策事業費 (事務事業の人件費合計)	千円	12,166	11,561	14,722		
⑤ トータルコスト(③+④)	千円	31,034	31,467	20,352		

## 施策の結果評価

評価の観点		点数
評価内容		
<b>(1) 施策の進捗度 (達成度)</b>		
一次評価	少し遅れている	18
理 由		
指定文化財については、震災からの復旧が進み、保存継承が図られているが、未指定の文化財については、調査・研究が進んでいない。市内の歴史資源の掘り起こしが不十分である。		
最終評価	少し遅れている	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(2) 施策の効率性・効果性 (費用対効果の観点)</b>		
一次評価	かなり高い	29
理 由		
震災被害や経年劣化による文化財の破損に対して、金銭的支援を実施し、早期の修理を行うことで保存継承が図られている。		
最終評価	かなり高い	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(3) 県内自治体との比較 (県内自治体との成果実績を比較)</b>		
一次評価	かなり低い水準にある	1
理 由		
他の自治体では、重要史跡を公有地化することで保存・活用が進められているが、本市においては、全く進んでいない状況である。今後、早期の検討が必要である。		
最終評価	どちらかといえば低い水準にある	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
施策全体を比較した場合、かなり低い水準とは思われないことから、評価を上方修正する。		
<b>(4) 市民の期待との比較 (市民が期待する水準と成果実績の比較)</b>		
一次評価	かなり低い水準にある	1
理 由		
本市には、文化財の活用・公開のための専用施設がない。近隣自治体では、すでに専用施設において教育普及が図られており、本市はかなり遅れた状況であり、市民の期待に応えることができていない。		
最終評価	どちらかといえば低い水準にある	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
施策全体を比較した場合、かなり低い水準とは思われないことから、評価を上方修正する。		
<b>(5) 施策の優先度 (他の施策との比較)</b>		
一次評価	高い	29
理 由		
文化財は、失ってしまうと二度と復元することはできないものであり、将来にわたって保存継承していかなければならない国民共有の財産である。このため優先して施策を講じていく必要がある。		
最終評価	高い	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>一次評価に対する施策の事後評価 (数値化による評価)</b>		
<b>B</b>	<b>施策目標に向けておおむね順調</b>	<b>79</b>

## 【総合評価】 (施策の今後の方向性)

前年度	最終評価	現状のまま継続
	施策や取組に対する提言	観光イベント等と連携・協力を図り、無形民俗文化財を広く市民に周知し、継承のための後継者対策を強化されたい。
	一次評価	<b>拡充</b>
	理 由	文化財を将来にわたって、保存・継承・活用していくために、既存の農業資料館や保有する文化財資料の有効活用を推進するとともに、展示公開を行うための専用施設の整備が急務である。
	最終評価 (ヒアリング結果)	<b>現状のまま継続</b>
	施策や取組に対する提言	観光イベント等と連携・協力を図り、文化財の保護・保存と活用を推進し、将来にわたって継承していけるよう円滑な施策展開を進められたい。新治廃寺跡や農業資料館の有効活用を検討されたい。

## 未達成の課題

未達成の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・文化財の保護について市民の理解、郷土に対する愛着を深めるために、文化財を展示公開して、より身近に接する機会の提供が必要である。</li><li>・未指定文化財の所在調査・現況調査および研究が必要である。</li><li>・指定文化財や重要遺跡の再調査を実施し、文化財の現況および詳細な情報の収集記録が必要である。</li><li>・無形民俗文化財の保存継承を図るため、映像による記録撮影（保存）が必要である。</li><li>・重要史跡の公有地化を進め、保存整備を図る必要がある。</li></ul>
--------	---

## 今後の施策展開

(1) 平成27年度の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・文化財の保護・保存と活用に関する事業を展開し、文化財に対する市民の理解を深める。</li><li>・被災文化財に対する支援を継続して行う。復旧に向けて所有者と連携を図る。</li><li>・文化財的価値を有する未指定文化財（尾見家住宅）の調査を実施し、国登録文化財への登録を進める。</li><li>・指定文化財や重要遺跡の再調査を推進する。</li><li>・民俗芸能保持団体等に対する支援を継続して行うとともに、無形民俗文化財の記録保存を進める。</li></ul>
(2) 平成28年度の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・文化財の保護・保存と活用に関する事業を展開し、文化財に対する市民の理解を深める。</li><li>・被災文化財に対する支援を継続して行う。復旧に向けて所有者と連携を図る。</li><li>・文化財的価値を有する未指定の文化財の調査を進め、指定・登録事務を積極的に行う。</li><li>・指定文化財や重要遺跡の再調査を推進する。</li><li>・民俗芸能保持団体等に対する支援を継続して行うとともに、無形民俗文化財の記録保存を進める。</li><li>・庁内関係各課と連携し、農業資料館を含めた文化財エリアの活用方を検討する。</li></ul>
(3) 平成29年度以降の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・文化財の保護・保存と活用に関する事業を展開し、文化財に対する市民の理解を深める。</li><li>・被災文化財に対する支援を継続して行う。復旧に向けて所有者と連携を図る。</li><li>・文化財的価値を有する未指定の文化財の調査を進め、指定・登録事務を積極的に行う。</li><li>・指定文化財や重要遺跡の再調査を推進する。</li><li>・民俗芸能保持団体等に対する支援を継続して行うとともに、無形民俗文化財の記録保存を進める。</li><li>・庁内関係各課と連携し、農業資料館を含めた文化財エリアの活用方を検討する。</li></ul>

本施策を構成する事務事業

新規	事務事業名称	事業費（千円）		従事職員数（人）		今後の事業の方向性
		平成25年度		平成26年度		
	平成26年度		平成27年度			
	担当課名		平成27年度			
04050101 IVいきいき・5地域文化・1歴史・伝・①文化財の保護・保存と継承						
	2039	その他文教施設災害復旧費	14,465		0.02	現行どおり
			1,522		0.20	
	650300	学務課	0			
	1937	文化財保護事業	2,630		0.39	-
			3,402		0.90	
	653700	文化課	4,224			
	1938	指定文化財支援補助事業	2,195		1.00	見直し
			66		0.10	
	653700	文化課	806			
	1939	文化財保護参画事業	143		0.03	-
			143		0.40	
	653700	文化課	143			
	2303	文化財記録収集事業	473		0.05	見直し
			0		0.00	
	653700	文化課	500			
○	2304	文化財管理施設等修繕事業	0		0.00	拡充
			0		0.00	
	653700	文化課	0			
	2474	文化財区域危険木剪定伐採事業	0		0.00	現行どおり
			497		0.20	
	653700	文化課	0			

# 平成27年度 施策評価シート (平成26年度実績評価)

施策	基本構想	04	IVいきいきと伸びやかに育つ人と文化のまちづくり
	政策	05	5 地域文化の振興
	施策	02	2 文化・芸術の振興

## 施策の概要

基本施策			
01	①文化・芸術活動の支援		
02	②文化環境の有効活用		
03	③美術館の充実		
主管課			
653700	文化課		
関係課			
656300	美術館		
施策の基本目標			
●市民が優れた文化・芸術に触れ、親しむ機会の拡充や文化情報の提供、地域における優れた文化活動の活発化などに努め、いきいきとした文化・芸術活動の振興を図る。●個性豊かで活発な文化・芸術活動を促進するため、文化・芸術団体の育成、指導者の養成など文化的な環境づくりに努める。●郷土に関連する新進作家や美術に関わる情報を集積し、広く市民に情報提供していくことで、豊かな地域文化創造につながる文化・芸術活動の振興と優れた芸術に触れる感動を体験できる市民の誇りとなる美術館活動を推進する。			

## 目標指標・成果指標の推移

成果指標 1	目標・成果項目	美術館への入館者数						
	考え方・式等	優れた芸術に親しめる場を提供し、先人たちの偉業や文化を発信する。						
	目標年度	平成 28 年度	目指す方向	↑	目標値	33,000	達成率(%)	84.5
	単 位	人						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
実 積	24,159	30,922	27,881					
成果指標 2	目標・成果項目	文化・芸術団体への加入者数						
	考え方・式等	文化活動に参加する人数を増やすことにより、魅力ある文化・芸術のまちづくりを推進する。						
	目標年度	平成 28 年度	目指す方向	↑	目標値	3,000	達成率(%)	100.7
	単 位	人						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
実 積	2,856	3,051	3,022					
成果指標 3	目標・成果項目	板谷波山記念館への入館者数						
	考え方・式等	郷土を代表する芸術家の作品を鑑賞する人数を増やし、先人への関心を深める。						
	目標年度	平成 28 年度	目指す方向	↑	目標値	6,000	達成率(%)	72.9
	単 位	人						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
実 積	4,604	6,810	4,372					

## これまでの取組と成果

①文化・芸術活動の支援	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化事業を継続して実施した。</li> <li>文化振興団体等の活動に対する支援を行った。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化協議会と連携し、筑西市芸術祭、筑西市文化祭を継続して開催し、多くの市民の参加協力が得られた。</li> <li>「明野薪能」の開催を支援するとともに、次代を担う子どもたちが伝統芸能を体験する場を確保し、青少年の情操教育を図ることができた。</li> </ul>

②文化環境の有効活用	
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理施設等の有効活用を図った。</li> <li>・文化芸術の情報の発信を行った。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ギャラリー等の維持管理に努めたことにより、学習の場と発表の場を広く提供することができた。</li> <li>・多彩な広報活動により、文化芸術の発表の場を広く周知することができた。</li> <li>・筑西市文化協議会の機関紙を全戸配布としたことで、会の活動を広く市民に周知するとともに、市民の文化意識の向上に努めることができた。</li> </ul>
③美術館の充実	
取組み	<p>優れた文化・芸術に親しめる場の提供を行うとともに、文化勲章受章者である板谷波山・森田茂をはじめとする、郷土ゆかりの作家の顕彰や、本市の文化の発信に努めるとの位置づけがあることから、郷土にゆかりのある作家の所蔵作品を紹介する展示を行うとともに、企画展「茨城工芸会展―波山へのオマージュ」「日本の祭り絵展―傳益瑤―」鉄道写真家中井精也写真展 「1日1鉄!」キャシー中島 「楽園のキルト―春をまちきれなくて―」を開催した。</p> <p>また、関連行事として作家のトークショーやギャラリーコンサート、ワークショップ等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展・企画展等の情報を市ホームページ・広報紙に掲載したほか、新聞・地域情報誌等のメディアに提供した。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会の開催や広報活動により、多種多彩な優れた芸術・文化に親しめる場を市内外の多くの方に提供するとともに、本市の誇れる文化を全国に発信することができた。</li> <li>・学校や企業、市民団体と連携を図りながら、魅力ある企画展の開催やワークショップの実施等、市民参加型の文化事業を開催することにより、市民の芸術・文化に親しめる場を提供するとともに筑西市の文化を市内外に発信し近隣市町村との交流を図ることができた。</li> </ul>

### 施策コスト

項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
① 本施策を構成する事務事業の数	事業	8	9	8	7	
② 本施策を構成する事務事業に従事する職員数	人	11.07	4.83	4.55		
③ 施策事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	34,127	46,973	40,469	43,070	
④ 施策事業費 (事務事業の人件費合計)	千円	25,067	37,476	37,214		
⑤ トータルコスト(③+④)	千円	59,194	84,449	77,683		

## 施策の結果評価

評価の観点		
評価内容		点数
<b>(1) 施策の進捗度 (達成度)</b>		
一次評価	進捗している	24
理 由		
美術館では、魅力ある企画展の開催、また、芸術祭や文化祭において「体験コーナー」等を充実して実地することで、若年層の文化活動への参加を促し、文化芸術を広くPRしている。		
最終評価	進捗している	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(2) 施策の効率性・効果性 (費用対効果の観点)</b>		
一次評価	どちらかといえば高い	24
理 由		
文化・芸術を誇るまちとして、魅力ある事業を実施し、文化・芸術面から筑西市の魅力を発信できた。また、美術館のワークショップや板谷波山記念館の企画展等の実施により、多くの子供たちに芸術に触れる機会を提供できた。		
最終評価	どちらかといえば高い	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(3) 県内自治体との比較 (県内自治体との成果実績を比較)</b>		
一次評価	ほぼ同水準である	4
理 由		
美術館における魅力ある企画展の実施や、薪能等の市民文化活動も活発であり、水準は高いと評価できるが、文化活動の中心となる市民会館が震災の影響で取り壊しとなったため、実施できる事業数や内容に限りがあり市民ニーズに対応できない。		
最終評価	ほぼ同水準である	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(4) 市民の期待との比較 (市民が期待する水準と成果実績の比較)</b>		
一次評価	ほぼ同水準である	4
理 由		
文化施設の減少により、市民ニーズに対応できる文化芸術の鑑賞の機会が減少したが、市民には筑西市が輩出してきた先人の偉業と文化を顕彰する気運があり、美術館及び板谷波山記念館においてはそれに応じるべく事業展開をおこなっている。		
最終評価	ほぼ同水準である	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>(5) 施策の優先度 (他の施策との比較)</b>		
一次評価	どちらかといえば高い	24
理 由		
文化芸術は人々の創造性を育み、心豊かな活力ある社会の形成において重要な意義を持つ。また、市民共有の財産であり、郷土への誇りと愛着を育み、地域の活性化に不可欠なことから、文化芸術の振興における行政の担うべき役割は高い。		
最終評価	どちらかといえば高い	
施策の結果評価に対する【評価・理由】		
<b>一次評価に対する施策の事後評価 (数値化による評価)</b>		
<b>B</b>	施策目標に向けておおむね順調	78

### 【総合評価】 (施策の今後の方向性)

前年度	最終評価	現状のまま継続
	施策や取組に対する提言	美術館事業の広報等情報発信を充実させ、魅力ある展覧会を開催されたい。
	一次評価	現状のまま継続
	理 由	地域文化の発信拠点として美術館の更なる充実が必要である。また、従来の活動を守り育てながら、新しい活動を取り入れ、市民のニーズや時代に合った文化活動を展開させていく必要がある。
	最終評価 (ヒアリング結果)	現状のまま継続
	施策や取組に対する提言	今後も、美術館事業の広報等情報発信を充実させ、魅力ある展覧会を開催されたい。



## 未達成の課題

未達成の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民による文化芸術活動の指導者不足や参加者の固定化、若年層の活動離れが懸念される中、指導者育成や誰もが参加しやすい環境づくりを推進し、自主的な活動を支援していく必要がある。</li><li>・市民のニーズや時代に合った文化・芸術活動の取組みが必要である。</li></ul>
--------	--

## 今後の施策展開

(1) 平成27年度の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在実施している各種文化事業を継続して行い、市民の文化活動を支援するとともに、学校や地域と連携して世代間交流を促進し、次代を担う子どもの豊かな感性や想像力を育成する文化活動の支援を行う。</li><li>・しもだて美術館を充実させることにより、優れた文化・芸術に親しむ機会を市民に提供するとともに、「交流人口の増加」を図った上で、筑西市が誇る先人たちの偉業や文化を市内外に広く発信する。</li><li>・美術館での小中学校秀作展並びに森田茂記念小中学校作品展の開催を検討する。</li></ul>
(2) 平成28年度の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在実施している各種文化事業を継続して行い、市民の文化活動を支援するとともに、学校や地域と連携して世代間交流を促進し、次代を担う子どもの豊かな感性や想像力を育成する文化活動の支援を行う。</li><li>・しもだて美術館を充実させることにより、優れた文化・芸術に親しむ機会を市民に提供するとともに、「交流人口の増加」を図った上で、筑西市が誇る先人たちの偉業や文化を市内外に広く発信する。</li><li>・文化団体の高齢化が懸念される中、若年層の文化活動への参加を促す支援を行う。</li><li>・美術館での小中学校秀作展並びに森田茂記念小中学校作品展を開催する。</li></ul>
(3) 平成29年度以降の施策展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在実施している各種文化事業を継続して行い、市民の文化活動を支援するとともに、学校や地域と連携して世代間交流を促進し、次代を担う子どもの豊かな感性や想像力を育成する文化活動の支援を行う。</li><li>・しもだて美術館を充実させることにより、優れた文化・芸術に親しむ機会を市民に提供するとともに、「交流人口の増加」を図った上で、筑西市が誇る先人たちの偉業や文化を市内外に広く発信する。</li><li>・文化団体の高齢化が懸念される中、若年層の文化活動への参加を促す支援を行う。</li></ul>

### 本施策を構成する事務事業

新規	事務事業名称 担当課名	事業費（千円）		従事職員数（人）		今後の事業 の方向性
		平成25年度		平成26年度		
		平成26年度		平成27年度		
		平成27年度				
04050201 IVいきいき・5地域文化・2文化・芸・①文化・芸術活動の支援						
1940	文化振興事業	6,313	0.87	6,275	0.90	—
		6,553				
653700	文化課					
1941	文化振興参画事業	25	0.01	25	0.50	—
		30				
653700	文化課					
1942	文化振興支援補助事業	3,472	0.55	3,472	0.80	現行どおり
		3,472				
653700	文化課					
04050202 IVいきいき・5地域文化・2文化・芸・②文化環境の有効活用						
2308	板谷波山没後50年顕彰事業	4,698	0.42	0	0.00	—
		0				
653700	文化課					
04050203 IVいきいき・5地域文化・2文化・芸・③美術館の充実						
1988	美術館管理事業	15,373	1.15	14,281	0.81	—
		15,936				
656300	美術館					
1989	美術館会議参画事業	42	0.01	42	0.01	—
		42				
656300	美術館					
1990	美術資料収集事業	0	0.03	2,927	0.05	拡充
		0				
656300	美術館					
1991	美術資料保存管理事業	495	0.10	0	0.11	拡充
		2,124				
656300	美術館					
1992	企画展開催事業	16,555	1.69	13,447	1.37	現行どおり
		14,913				
656300	美術館					